

バイダルール

・バイダ牌（ワイルドカード）

バイダ牌は他の牌の代用として使えますが、鳴くことは出来ません。

バイダ牌の決め方は、まず東風のプレイヤーが局の初めにサイコロを一つ振ります。

牌山の端から出目の数にある牌をめくります。

このめくられた牌と、その次の牌が「バイダ牌」となります。

例えば、東風のプレイヤーが振ったサイコロの出目が5の場合、牌山の端から5番目の牌をめくります。

めくられた牌が  の場合、 と  がバイダ牌となります。

風牌がめくられた場合は、現物とその次の牌がバイダ牌となります。次の牌とは、東→南、南→西、西→北、北→東、という順になります。三元牌がめくられた場合も同様に現物とその次の牌がバイダ牌となります。

次の牌とは白→發、發→中、中→白、という順になります。

・特別ルール

バイダ牌を持っている場合、または面前ではない場合、プレイヤーは自摸のみで和了することが出来ます。

プレイヤーがバイダ牌を打牌した場合、その牌はバイダ牌としての役割を失くし、通常の牌の1つとして扱います。よって、その捨牌を通常の牌として「チー」することが可能になります。ですが、バイダ牌を面子に含んだ「チー、ポン、カン」は出来ません。

・7種類の採用役

バイダルールでは、以下7種類の役のみ和了を宣言することが出来ます。最高点は320点です。

1. 混一色（ホンイツ） 40点: 

2. 清一色（チンイツ） 100点: 

3. 一気通貫（イッキツウカン） 40点: 

4. 対々和（トイトイホー） 30点: 

5. 字一色（ツーイーソー） 320点: 

6. 七対子（チートイツ） 30点: 

7. 十三么九（シーサンヤオチュー） 200点: 

・特別ボーナス


特別ボーナスとは通常の役にプラスされる加点で、最高点は 480 点です。

ビッグ・クレーン (100 点) : 「チー」、「ポン」、「カン」のいずれかを 4 回鳴き、1 枚のみの手牌 (裸単騎) で和了した場合。しかし、このプレイヤーが局の間にバイダ牌を打牌していた場合、特別ボーナスは 10 点のみとなります。

ノー・バイダ (10 点) : バイダ牌がない状態で和了した場合。

フォー・バイダ (10 点) : バイダ牌が 4 枚以上ある状態で和了した場合。

バイダ・ドラゴン (30 点) : バイダ牌を使用して一気通貫を和了した場合。但し、バイダ・ドラゴンで使用するバイダ牌は、一気通貫の牌と同じ色の数牌 (マンス、ピンス、ソウズ) であることが条件となります。

例えば、バイダ牌が  と  の場合、バイダ・ドラゴンは         となります。

嶺上開花 (10 点) : 嶺上牌で和了した場合。

槍槓 (10 点) : 他家が加槓した牌で和了した場合。

海底撈月 (10 点) : 海底牌で和了した場合。

河底撈魚 (10 点) : 河底牌で和了した場合。

四槓子 (400 点) : 4 面子を槓子にして和了した場合。(ビッグ・クレーンの点数も含まれます)

地和・天和 (200 点) : 親の時、または子の時、配牌時の 14 枚で和了する場合。

・行動規範 (マナー)

- ・対局中は「ポン・チー・カン・和了」などで鳴く以外は会話をしてはいけません。違反者は直ちに審判へ報告されます。1 度目の違反では口頭での警告があり、2 度目になると 30 点の減点となります。悪質な行為と判断された場合は審判より失格などの罰則が与えられる場合があります。
- ・栄和の場合は放銃側と栄和側の双方が、確認の為に手牌を審判に見せることが義務付けられています。もしも一方のプレイヤーが手牌を審判に見せることを拒否した場合は違反行為とみなし、1 度目は口頭での警告、2 度目になると 30 点の減点となります。悪質な行為と判断された場合は審判より失格などの罰則が与えられる場合があります。
- ・プレイヤーが対局に遅刻した場合、ゲーム毎に 30 点の減点となります。遅刻をしたプレイヤーの席は他者に譲ることとなり、その局には参加出来ません。間違った席で対戦をすることも減点の対象となります。
- ・他のプレイヤー、またはその他の形態での不正行為は固く禁じられています。違反はトーナメントへの永久参加禁止処分になる可能性があります。

全ての判断はザ・スター運営側の解釈によって最終とします。